

2008年6月19日、BMWミュージアムがオープン

ミュンヘン発(2008年3月3日)着工以来2年半、2008年6月19日にBMWミュージアムが新たにオープンします。外装および内装のリニューアルにともない、展示スペースは従来の5倍にあたる5000平方メートル以上に拡張しました。新たなコンセプトのもと再スタートしますが、通称「ミュージアム・ボウル」の名で親しまれているシンボルは顕在です。これは1973年にウィーン出身の世界的に著名な建築家カール・シュヴァンツァー(Karl Schwanzer)によって手がけられたユニークな建築物です。ミュンヘンのドイツ本社に隣接するBMWミュージアムは、BMW ヴェルト・エクスペリエンス・アンド・デリバリー・センター(BMW Welt Experience and Delivery Center)やBMW工場の見学とともにユニークなブランド体験ができるスポットとなります。ミュージアムの一般公開は完成記念式の2日後、6月21日からです。

ブランド・ミュージアム

生まれ変わったBMWミュージアムは企業力と革新力の歴史的な変遷や、モータースポーツを含めたこれまでの活動を紹介する、ブランドを直接体験できるミュージアムです。BMWのプラントが過去から現在、そして未来に向けてどのように発展してきたを見ることができます。主な展示品はBMW製品の歴史を彩ったクルマたち BMW R 32、BMW 507、さらに往年の名車、BMW 2002などです。120以上の展示品はコンセプトカー、レーシング・モデルそれに市販車を網羅しており、BMWプラントを雄弁に物語る証しです。展示テーマはデザイン、エンジン、広告、空気力学やモータースポーツなど、多岐にわたる内容となっています。また、特別な展示技術は新しいミュージアムのコンセプトに相応しいものとなっております。「BMWはここで再び新たなトレンド生むでしょう。心躍るエキサイティングな方法でクルマと企業の歩みを結びつける、という今までにない試みに乗り出したのです。一言で表せば、BMWミュージアムは人の心を捉える情熱を表現する場と言えます。」とBMW Mobile Tradition責任者であるKarl Baumerは述べています。

建築デザイン

隣接した低層ビルへの拡張によって、BMWミュージアムの展示スペースは従来に比べ5倍の広さになりました。設計者カール・シュヴァンツァーの建築理念はリニューアルされた空間の中ではさらに際立ちます。室内には、道路や広場に加えて、橋や住宅も登場します。主題は都市建築であり、自動車社会の主要要素でもって形づくられる一種の「交通複合施設」です。